

『また明日 きっと歩こう この道を』

～平成22年度「道路ふれあい月間」推進標語 入選作品決定のお知らせ～

国土交通省 道路局 道路交通管理課

◆「道路ふれあい月間」とは◆

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路を利用している国民の方々に道路とふれあい、道路の役割や大切さを再認識していただき、道路愛護活動の推進及び道路の正しい利用の啓発を図るとともに、道路を常に広く、美しく、安全に利用する気運を高めることを目的とした運動を実施しています。

◆「道路ふれあい月間」推進標語◆

道路は、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない基本的な施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その重要性が見過ごされがちです。そこで、「道路ふれあい月間」の行事の一環として、改めて道路の意義・重要性について考えて頂くことを目的に、平成22年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集しました。2月1日から3月末までの間、国土交通省ホームページなどで募集を行ったところ、全国各地から6,006作品もの応募がありました。

これを受け、5月20日に審査懇談会を開催し、審査員による厳正な審査の結果、最優秀賞1作品、優秀賞8作品が選ばれました。

選ばれた作品は、「道路ふれあい月間」活動の推進のため幅広く活用されます。

◆平成22年度の入選者・作品◆

○ 最優秀賞 (1作品)

『また明日 きっと歩こう この道を』

神奈川県 加藤 広 大さん 13歳 (中学生の部)

○ 優秀賞 (8作品)

【小学生の部】

『つうがくろ 大人になっても とおりたい』

高知県 石元 あゆ さん 10歳

『いつまでも よろしくですよ どうろさん』

高知県 西原 ももか さん 11歳

『弟に あわせて歩く 帰り道』

東京都 宮下 志穂 さん 10歳

【中学生の部】

『何気なく 通るからこそ 感謝だね』

新潟県 石塚春秋子 さん 13歳

『その道が 町一番の 名所です』

東京都 仲畑 圭悟 さん 14歳

【一般の部】

『もう少し 歩いてみたい 道が好き』

滋賀県 門木美椰子 さん 80歳

『いい道で 出あいふれあい 語りあい』

香川県 新田 憲明 さん 59歳

『続いている 道の数だけ 夢がある』

愛知県 松永 智文 さん 27歳

※年齢は、入選決定時

◆審査懇談会の様子◆



【審査員】

- ・上野 誠 (奈良大学文学部教授、国文学者)
- ・山村レイコ (エッセイスト、国際ラリーライダー)
- ・吉岡 耀子 ((株)J A F MATE 社「ウェイズ」元編集長)